

MUSUBI



発行所:岡村精二
印刷所:(株)ヨシイデザインワークス

人と人を結ぶ。「ご縁を大切に」という願いを込めて

むすび【産産】(奈良時代にはムスヒと清音。「むす」は産・生の意、「ひ」は豊力) 天地万物を産み成す豊かな神豊。むすびのかみ。むすぶのかみ。うぶのかみ。

2008 OKAMURASEIJI
岡村精二の決意

“きずな”の再生こそが 未来を拓く。

生活者起点に立ち、心豊かで活力ある地域社会を目指して。

玄関に設けた「緑のカーテン」にゴーヤが若葉を茂らせ、私の好きな夏が近づいてきました。皆さまにおかれましては、元気で過ごすごこととお喜び申し上げます。

昨年、皆さまの温かいご支援により、再び県議会に送り出されたこと、心より厚くお礼申し上げます。

県議会では、総務企画委員会・副委員長を拝命し、二井知事が取組んでいる「住み良き日本一の山口県づくり」の中心的委員会として、県の行財政改革などに一生懸命取り組んでいます。しかし、山口県は少子高齢化、厳しい財政状況、地域間格差の拡大などさまざまな課題を抱えています。地方分権が進展する中、個性豊かな活力ある地域社会を実現するために、自ら創意工夫した取組みが大切になっています。

社会に起こる“負”の根幹は何か

さて、私は「生活者起点に立ち政策を提案、自ら行動し実現する議員」を目指して努力して参りたいと思っています。今、私たちは年金や食品偽装など、不安と不信感を抱えて生活しています。それは私たちの未来に対する不安でもあります。

戦後、日本人の安心・安全・安らぎを支えてきた大切な基盤は企業と家族、そして地域のコミュニティーでした。しかし、終身雇用制度が崩壊したことによる雇用不安、

派遣社員制度による将来の展望を持たない若者の増加。青少年に関わる事件の多発により子どもたちを取りまく社会と大人に対する不信感。核家族化による老後に対する不安。また、お年寄りの介護を家族から社会に移しつつある介護保険制度も家族の絆を低下させ、後期高齢者医療保険では私の保険証から父と母の名前が消えました。共に大切な親子の絆と温もりが消えていくようです。

スウェーデンでは社会保障制度が充実し、ゆりかごから墓場まで社会が面倒を見ることと教わり、日本の目標でしたが、「子どもが親の面倒をみる」という意識が低下し、お年寄りの孤独死や自殺が大きな社会問題となっています。お年寄りの介護を社会だけに委ねるのではなく、家族、地域で支えるという意識も大切だと思います。

家族の絆こそが未来を拓く

私は唯一、日本の未来に可能性があるとするれば「家族の絆」と「郷土愛」の再生こそが、大切な政治課題だと思っています。そこで現在、ふるさとを愛し、ふるさとの産業を担う若い人材の育成、地域の魅力ある資源の活用、地産地消運動のさらなる拡大を目指す広報活動の促進のため、「ふるさと産業振興条例」の議員立法による制定を目標に活動しています。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

支援者の声

私たちは岡村精二君を
応援します!



知識で行動するのではなく、
真心で行動する政治家。

野村清風

Nomura Kiyokazu
吉布八幡宮宮司/山口県神社庁長

わが国の戦後史は、急激な社会変化をもたらした時代で、その要因は多様だが、過疎過密という社会状況を生み出した。若者は都市へ流出し、祖先伝来の土地を放棄するに忍びない世代は、体力の続く限り田舎に留まり農業を営んできたが、高齢化が進み過疎化地域も限界集落へと変遷し、社会共同体すら維持できない危機的状況に至りつつある。このことは農業文化の衰退を意味する。

この社会は今生きている人たちの私有物ではなく、先祖そして子孫に至る共有の財産であることを認識することが大切であり、知識で行動するのではなく、真心で行動することが必要だ。

高齢者に席を譲ってあげた知識は持っていますが、席を譲れる心づかいがなくては意味をなさない。岡村君はそれが実践できる政治家(人物)だと期待する。



情熱と実践の男
岡村議員に期待する。

宮本 弘

Miyamoto Hiroshi
岡村精二後援会会長/元香川高校・中学校校長

岡村君が山口県議会議員となって、はや二期目。宇部市で生まれ育ち、宇部市議会議員の経歴を持つ彼が、今や県議会で堂々の活躍をしていることは、後援会としても大きな誇りです。

私は彼の県議会における一般質問には欠かさず傍聴席から彼の質問に耳を傾けていますが、彼の県知事や県執行部に対する質問は、単なる空論ではなく、彼の持つ数多くの資格や実践に裏付けられたものであるだけに、彼の発言提案は県にとってもまことに貴重なもので、無視することができません。

情熱の男、実践の男、岡村君こそ、まさに山口県議会の宝です。彼の益々の活躍を祈ってやみません。



SEIJI OKAMURA

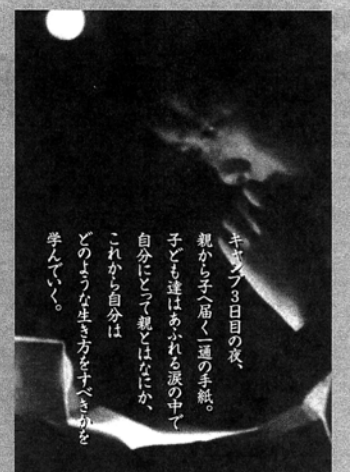
私の「きずな」本が出版されました。親から子へ届く一通の手紙。子ども達はあふれる涙の中で自分にとって親とはなにか、これから自分はどのような生き方をすべきかを学んでいます。

日々子ども達との関わりの中で実感する“きずなの大切さ”を
親子の手紙のやりとりと共に綴ったエッセー本。

「手紙でつむぐ親子のきずな」ほくらがもらった宝物

岡村精二 著/平成20年7月4日発売[創元社] 定価1,500円

私は平成3年以來、親子、家族の絆を深めるため、両親や家族から手紙を活用した青少年教育に取り組んできました。きっかけは、23歳のときに挑戦した手作りヨットによる太平洋単独横断の体験です。当時、太平洋横断に反対していた父とは、出航までの6年間ほとんど口をきいたことがありませんでした。ところが、宇部港の沖で、母が作ってくれた弁当箱を開いたとき、「頑張れ!母!生きて帰れ!父!」と書かれた紙切れが入っていました。私は泣きました。手紙は心を揺さぶる大きな力を持っています。



Okamura Seiji Report

県議会報告

●平成19年6月・12月の山口県議会定例会・一般質問の内容をご紹介します。

(全文はホームページをご覧ください)

2007 山口県議会6月定例会 一般質問

平成19年6月28日

若者の居場所を守る

急増する不登校・中途退学への社会的対応を

2期目を迎えた最初の一般質問。教育、土木建築、防災対策、健康づくりなど広範な質問をさせて頂きました。

特に教育問題では、高校を中退する生徒数が毎年700名を超え、また不登校生の急増に対する小中学校・高等学校における取り組みをたどりました。

教育長より「不登校に対して早期対応、きめ細かな支援の充実を図るとともに、中学校卒業後、進学も就職もしていない生徒、また高校を中途退学した生徒に対して、進路相談や情報提供を一層努めるなど、児童生徒の将来の社会的自立に向けた支援をする」との回答を頂きました。現在、県には高校を中退した生徒に対応する部署はなく、その新設を求めています。

質問概要

教育問題について

①不登校等対策について

- 中学校と高等学校との連携・意見交換
- 不登校に対する考え方の違い
- 民間施設における出席の取り扱い
- 不登校対策・高校中途退学対策

②「チャイルドライン」等電話相談

③体験活動の充実

- 地域における体験活動
- 学校教育における宿泊体験学習

愛宕山地域開発事業について

①防災対策等 ②転用策

土木建築行政について

①公共施設の設計基準の見直し

- ②地場産業の育成
- ③入札参加資格審査
- ④技術職人の後継者育成

県民の健康づくりについて

防災対策について

①自主防災組織

- ②早期防災学習
- ③干拓地における護岸改修事業
- ④早期設置型簡易住宅の備蓄



建設業者のアンケート用紙を手に一般質問に立つ。(12月定例会)

2007 山口県議会12月定例会 一般質問

平成19年12月13日

「公共工事の入札制度」の在り方を問う!

議会上初めて、事前にアンケート調査を行い一般質問を行いました

12月議会では「公共工事の入札制度」に関して宇部市内の業者280社など合計333社に対してアンケート調査を行い、一般質問を行いました。

アンケートの結果から、低価格入札の影響など建設業界の抱える課題の大きさ、危機感から「とても短い質問時間で対応できる課題ではない」と強く認識し、あえて「土木建築行政について」の1問だけに絞って質問を行いました。

山口県議会では、アンケート調査を行い、また、1つの課題を深く掘り下げて行った例はなく、異例の一般質問となりました。しかし、その熱意が伝わりほぼ期待通りの答弁を頂くことができました。アンケートにご協力下さった建設業者の皆さまに改めてお礼申し上げます。

質問内容が日刊「中建日報」の第1面に掲載されました。

建設業界の新聞である日刊「中建日報」の12月28日第1面トップ記事として質問内容が大きく掲載され、また、1月22日には、アンケート結果が1ページ記事として掲載されました。

質問概要

土木建築行政について

- ①公共工事に対する積極的予算編成の要望
- ②山口県における建設業界の現状についての知事の見解
- ③公共事業の県内企業への優先発注
- ④適正価格
- ⑤予定価格の事前公表
- ⑥低入札調査基準価格と判断基準額の引き上げ
- ⑦総合評価入札制度

4月から入札制度が一部改正され、調査基準価格と判断基準額が引き上げられることになりました。

結果的には、次の通りとなります。

工事予定価格	現行の判断基準額	4月以降の判断基準額	引上げ率
3000万円の場合	66.2%	76.8%	10.6%
6000万円の場合	70.0%	75.7%	5.7%
10000万円の場合	72.4%	75.4%	3.0%

公共事業の予定価格事前公表の廃止を!!

今回のアンケート結果を受け、岡山県が「予定価格の事前公表」を廃止

山口県は3月発注工事から低価格入札の実態調査を行っています。年末には抜本的な対応が行われます。私が宇部市で行ったアンケート調査の結果を見た岡山県は、急速4月以降「予定価格の事前公表の廃止」を行いました。

時間をかけず、さらなる調査基準価格・判断基準額の引き上げ、予定価格の事前公表の廃止が行われるよう強く要求して行きます。

議員活動

SEIKO OKAMURA



〈東京 六本木ヒルズで行われた表彰式で〉
東国宮崎副知事など約200名が出席、報道関係者も多数出席し、まるでオスカー授賞式のような雰囲気でした。

『第2回マニフェスト大賞』入賞!

議員の政策立案を競うコンテストに応募し、応募総数547件の内25件にノミネートされ、表彰を受けました。

マニフェスト大賞とは、地方自治体の首長・議員の活動実績を募集・表彰し、受賞者氏名を発表することで、地方政治で地道な活動を積み重ねるのさらなる政策提言意欲の向上につなげることを目的としたコンテストです。

審査委員長をマニフェスト推進の提唱者である北川正恭氏が務める大会で入賞という栄誉を頂けたことを心から喜んでいます。私にとっては、議員活動の1つの転機であり、大きな励みになりました。

〈マニフェスト大賞〉

主 催 ローカルマニフェスト推進地方議員連盟
共 催 早稲田大学マニフェスト研究所
審査委員長 北川正恭 (早稲田大学大学院教授)

第2回 マニフェストスクール in 中国



◀北川正恭先生(早稲田大学教授/元・三重県知事) (左)と横山徳徳先生(社会システムデザイン研究所代表) (中央)と懇談会で

早稲田大学マニフェスト研究所が主催する2日間のマニフェストスクールに参加しました。全国から地方議員30名が参加し、行われた研修内容は、地方議員版ローカル・マニフェストの作成・活用方法の検討。地方分権が進展する中、真の地方自治を実現するためには、地方議会の活性化、刷新の必要性を強く感じました。生活者起点・政治主導・政策中心型の議会制民主主義の発展に資する議員にならなければと思います。

NPO法人 森と海の学校

「達成感、親子の絆」テーマに、心豊かな冒険心あふれる青少年および指導者の育成を目指しています。客船を利用した洋上研修やキャンプ・ヨット・カヌー教室、登山、冒険学校、子ども匠の学校などの体験教育を行っています。



キャンプ・ヨット・カヌー教室、登山、冒険学校、子ども匠の学校などの体験教育を行っています。

お知らせ

今年も 子ども自然体験キャンプを開催します。

昭和59年以来実施してきた4泊5日の子ども自然体験キャンプが第25回を迎えました。最近ではわかし参加された方のお子さんが参加するようになりました。これも多くの方々のご協力のおかげです。ご参加をお待ちしています。

●第25回「子ども自然体験キャンプ in阿蘇」
日時：平成20年8月5日～8月9日
対象：小学2年生～中学3年生 人数：100名

※詳しくは岡村精二ホームページをご覧ください。岡村精二事務所までお問い合わせください。

第2回 子ども匠の学校



子どもたちに匠の技を学んでもらうための学校です。30名の子どもたちが、左官さんにはセメントの練り方、魚屋さんにはマグロのさばき方や刺身の作り方などを学びました。保護者の皆さんからもたいへん好評でした。

86名の小中学生と韓国を訪問しました。ソウル、慶州、釜山の世界遺産を見学し、釜山市盆浦初等学校では全員で「よさこい踊り」と歌を披露し、交流を深めました。



NPO法人「YMO21」

平成16年に、新高校入学生や高校中退、不登校の子どもたちを対象とした単位制通信高校のサポート校「博多自由学園」を福岡市天神に開校、平成17年には宇部市松島町に「山口UK学院」を開校しました。若者たちの誰しもが夢を抱き羽ばたいて行ける社会環境づくりを目指しています。



通信制サポート校「山口UK学院」の卒業式が行われ、9名の生徒が巣立って行きました。

ふるさとの名産品を育てる会

「ふるさとを味わい、文化に親しむ」をテーマに、地元宇部で採れた野菜や魚、地酒を楽しみ、地元の名産品を応援していく会を実施しました。約450名の方々にご参加いただきました。



神恵社 恵美須

平成10年から縁あって、神社の社主を任せられ、管理運営を行っています。



「財団法人 修養団」宇部市連合会

財団法人修養団は、文部科学省所管の社会教育団体です。青少年の健全なる育成をはかるための教育を行うとともに、「愛と汗」の精神を信条とする青少年指導者の育成と社会教育活動の振興を目指して活動を行っています。今年度より私が宇部市連合会の会長を引き受けさせて頂くことになりました。

年末市街地清掃奉仕活動

毎年、12月の第3日曜日に実施しています。宇部興産や明るい社会づくり協議会などからも毎年400名の市民が参加され、市街地の清掃を行っています。



修養団「愛汗黒板」

琴崎八幡宮の境内にある黒板に、毎月1日「愛汗の言葉」を書いています。また、6、12月には境内の掃除をさせて頂いています。

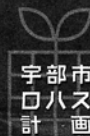


SYD山口青年セミナー



小野湖で水行を行いました

修養団伊勢研修センター講師2名のもと、2泊3日の社員研修を行いました。伝統行事「水行」の灯を守り続けたいと思っています。



美しい環境都市

「宇部」を目指して。

宇部市はかつて世界有数の大気汚染による公害都市と言われていました。しかし産・官・学の協力と市民活動によって、公害を克服した素晴らしい歴史を持っています。その市民活動の中心的存在が実は修養団だったそうです。この全市一丸となった取り組みに対して1997年、宇部市は「グローバル500賞」を受賞しました。(財)修養団宇部市連合会では、こうした先人たちの環境への取り組みに学び、地球温暖化対策にも貢献できる環境美化に全市で取り組み美しい環境都市を目指すべく「宇部ロハス計画」を展開します。

PROFILE



岡村精二・プロフィール

Okamura Seiji

- 昭和28年 8月6日宇部市生まれ(原小学校、厚南中学校卒業)
- 昭和49年 国立宇部高専・機械工学科卒業
- 昭和52年 日本初の手作りヨットによる単独太平洋横断に成功
- 昭和54年 NHK青年の主張コンクール全国大会・優秀賞
- 昭和59年 心豊かな冒険心あふれる子どもたちを育てるため、体験教育を取り入れた学習塾「わかし塾」開設
- 岡村せいじ建築設計事務所開設
- 平成4年 「第1回 Project松陰ジュニア洋上スクール」実施
- 平成7年 阪神・淡路大震災を教訓に災害用緊急仮設住宅「防災ハウス」を開発、商品化
- 平成11年 宇部市議会議員初当選
NPO法人「森と海の学校」設立
- 平成14年 山口大学大学院(環境共生工学専攻)修士課程修了
山口大学大学院博士課程在学中
- 平成15年 山口県議会議員初当選
- 平成16年 NPO法人「YMO21」設立
- 平成17年 通信サポート校「博多自由学園」「山口UK学院」開校
- 平成19年 不登校児童のための支援センターを開設

■現職/山口県議会・総務企画委員会・副委員長・自由民主党山口県連・副幹事長・NPO法人「森と海の学校」理事長・NPO法人「YMO21」理事長・宇部市レクリエーション協会会長・宇部市ソフトボール協会会長・山口県スポーツチャンバラ協会会長・学校法人香川学園 理事、同元「父母の会」会長・日本警察犬協会山口支部支部長・ふるさとの名産品を育てる会会長・(財)修養団宇部市連合会会長・岡村せいじ建築設計事務所 所長

岡村精二後援会のご案内



岡村精二後援会にご入会ください。

岡村精二後援会事務所
〒759-0206 宇部市厚南区第二原
(小野田線長門長沢駅より西へ300m)
TEL・FAX 0836-41-5435



お気軽にお立ち寄りください。

岡村精二オフィシャルホームページ <http://www.okamura21.com/>

岡村精二の

ホームページを開設しています。

プロフィールから最新情報、自身が日々の活動を綴るブログまで、情報満載の公式ホームページです。ぜひアクセスしてください!

岡村精二

検索 Click!

●岡村精二で検索するか、下記アドレスからアクセスしてください。



小野地区の道路と小野湖護岸の整備に対する要望を伺い、現地で対策を協議しました。



自民党の移動政調会・政策聴聞会
総務企画副委員長、自民党山口県連幹事長として、各市町の要望事項を伺い知事への提言と予算要望を行いました。



宇部湾岸道路に横断歩道を新設するため、現地に耕運機を搬入して、県との協議を行いました。



公約実現

山口県青少年育成条例改正

有害図書規制が日本一厳しくなりました。

「川上がきれいになって、川下がきれいになる」といいますが、子どもに関わる事件が多発する昨今、氾濫する有害な情報が容易に手に入る環境もその一因となっています。今回、私が公約に掲げていた「山口県青少年健全育成条例の改正」がようやく実現しました。この改正により、有害図書の規制については日本一厳しい内容になり、罰則規定も設けられたほか、インターネット上の有害情報への対応や夜間外出規制も強化されました。「川上がきれいにする」流れを、山口県が起点となって牽引していくためにも今回の改正は大変意義があるものと思います。

有害図書類の区分陳列については、次のように規制が強化されました。

- ① 有害図書を包装しない場合は、別室を設け青少年の立入を禁止し、内部を監視する。
- ② 包装した場合、一般図書と60cm以上離し、10cm以上張り出す壁を設け、床面から150cm以上の位置に背表紙のみが見えるようにして置く。販売等に従事する者が常駐する場所から5m以内の場所に置くこと。

このような陳列方法は、山口県では条例違反になります。



第5回 全国おやじサミットin広島



全国のおやじ達が、子ども達のために出来ることは何かを共に考える会です。PTA活動や子ども会活動におやじ達はもっと積極的に参加するべきだと思います。

道と溝の普請には、毎回出るようにしています。近所の方々といひ汗を流しました。

第1回 スポーツチャンバラ 山口県青少年大会

第1回山口県青少年大会を西部体育館で開催しました。2011年の山口国体ではデモンストレーション競技として宇部市で開催されます。準備がたいへんですが、精一杯努力して立派な大会にしたいと思います。



富士山ナショナル・トラスト活動

富士山の斜面崩落防止のためのボランティアで植栽を行う活動に参加しました。富士山の厳しい現状を学ぶ機会となりました。

留学生のマリと



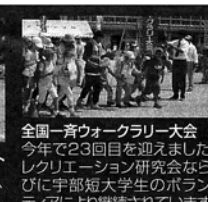
フランスから留学生がやってきた!



宇部ロータリークラブの交換留学生として、フランスのリヨンから来日したマリ・テブノさん(18歳/写真中央)が3ヶ月間私の自宅にホームステイしました。笑顔が可愛く、みんなの人気者でした。



第11回西日本シニアソフトボール大会/開会式では、優勝旗返還を受けました。



旧山口県議会棟見学 原校区「睦会」の皆様が旧県議会棟を見学に来られ、館内をご案内しました。

書籍の紹介



成「幸」学 人生の「正面教師」たち
著者 黒木安馬 講談社/定価1,300円
著者は(株)日本成功学会代表取締役の黒木安馬さん。私の友人で、講師・作家としても活躍されています。この書籍では、全200ページのうち、16ページほど私のことを取り上げていただきました。

日本建築学会で論文を発表しました



防災対策について、広島国際大学(呉市)で論文を発表させていただきました。大学の教授から質問を受けると、さすがに緊張しました。

後援会活動

山口県議会を傍聴

岡村議員が県議会で一般質問を行う際は、傍聴希望者をお誘いしています。議会終了後には、毎回傍聴して下さった皆さんと知事室に二井知事を表敬訪問しお話をうかがっています。
※傍聴を希望される方は、お問い合わせ下さい。毎回、バスを手配しています。

写真(上)二井閣成山口県知事と知事室で
写真(下)島田 明山口県議会議長と議長室で



女性部会 はなはな会

初めて女性の会を実施しました



「テレビ寺子屋」の講師で有名な中山靖雄先生をお招きして、初めて女性の会を実施し、250名のご参加をいただきました。先生は目が不自由なのですが、心に響くお話をされ、終了後参加者の皆さんの目がイキイキと輝いていたのが印象的でした。